

平成17年9月29日

取引先各位

株式会社電業社機械製作所
資 材 部

当社業務に関わる情報の漏洩防止対策のお願い

拝啓

貴社益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当社調達活動にご協力頂きお礼申し上げます。

さて、掲題の件、パソコンのファイル交換ソフト“Winny”に関係した原子力関連の情報漏洩事件を受けて、当社ではお客様より情報漏洩防止対策を当社並びに当社取引企業様にて実施するよう要請されております。

つきましては、下記の事項について取引先各位に実施をお願い致しますので、ご理解とご協力を頂きます様宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 業務用パソコンへの”Winny”等の導入禁止

(1) “Winny”を使用することにより、情報漏洩の危険がありますので、会社所有、個人所有を問わず、当社業務を行うパソコンには“Winny”を導入しないで下さい。

同様に、WinMX、Napster、KaZaAなどのファイル交換ソフトも導入しないで下さい。

(2) P2P技術^{*)} および仮想ネットワーク構築ソフトウェア^{*)} について、その安全性を指摘する声がありますので、これらのソフトウェアは当社業務を行うパソコンには導入しないで下さい。

2. 個人所有のパソコンの業務利用制限

個人所有のパソコンはセキュリティ対策が十分であるか所有者の判断となり、プライベート使用によるウイルス感染や、コピーなどによる情報漏洩の可能性がありますので、当社業務に使用しないようご指導願います。

3. ウイルスチェック用ソフトの導入

当社業務を行うパソコンには必ずウイルスチェック用ソフトを導入し、パターンファイルを常に最新に更新するようお願い致します。

4. 電子情報の盗難、紛失対策について

当社業務に関わる電子情報を社外へ持出す場合は、その持出し状況を管理するとともに、保存されている媒体を暗号化するなど十分な対策を行うようご指導願います。

詳細のお問合せは、弊社資材部担当者もしくは情報統括室(055-975-8223)までお願い申し上げます。

以上

次ページの【参考】もご覧下さい。

【参考】

1 P2P

P2P (Peer to Peer) 技術とは複数のコンピュータをインターネット上で相互接続し、ファイルや演算能力などの情報資源を共有するシステムです。

P2P 技術はそのアプリケーションソフトウェアを管理するサーバを必要とするもの (Napster など) と、アプリケーションソフトウェアが導入されたコンピュータ各々が独自に情報資源を共有しあうもの (Winny など) の 2 種類があります。前者はインターネット通信が効率的ですが、管理サーバが停止するとシステム全体が停止します。後者はシステム全体が一度に停止することはありませんが、インターネット通信が混雑する、違法なデータがやり取りされていても事実上その把握や規制ができないという特徴があります。

P2P 技術を応用したソフトウェアの導入は、情報資源の共有により著作権侵害や違法データの流通などの問題となります。

また、P2P ソフトウェア利用者のコンピュータ内の情報を流出させる暴露ウイルスが情報流出の問題を起しています。

2 仮想ネットワーク構築ソフトウェア

一般に企業が使用する情報システムはファイアウォールなどにより、システム管理者がセキュリティ管理を行っていますが、インターネットを経由して、システム外のコンピュータとあたかも専用線接続のようにネットワークを構築するソフトウェア (SoftEther など) があります。一般ユーザがシステム管理者の管理外でこれを導入すると、組織としてのセキュリティ管理ができなくなり、ウイルスやワームなどの侵入を許してしまう可能性が高くなります。